

再葬墓もいずみも収録！

『常陸大宮市史 資料編 1 考古』を 発刊しました



本書は、常陸大宮市域に所在する旧石器時代から平安時代までの遺跡・遺物を網羅し、各時代の研究者が新たな視点で解説する資料集です。

初出の遺跡を含め、新たに作成した実測図と写真をフルカラーで多数掲載しています。

国指定史跡である泉坂下遺跡と、国重要文化財の人面付壺形土器「いずみ」などの出土品もちろん掲載。文化庁主催の「発掘された日本列島2024」に出品され、話題となった長倉の宿尻遺跡をはじめ、中台遺跡や小野天神前遺跡で調査された「再葬墓*」資料も全て収録しています。

ふるさとの歴史とロマンを堪能できる1冊を、ぜひお手に取ってみてください。

※再葬墓…遺体を一旦土に埋めるなどして一度葬ったあと、骨になった遺体を壺などに納めて改めて埋葬したお墓のこと。



▲泉坂下遺跡発掘調査（2006年）で土器が出土した様子。発掘1日目で人面付壺型土器が出たため、調査員は非常に驚いたそうです。



▲宿尻遺跡発掘調査（2019年）の様子。壺形土器15点や管玉、ヒスイ製小玉などが出土しました。

『常陸大宮市史 資料編 1 考古』

【仕様】

A4判 743ページ フルカラー
クロス装 上製本 箱入り

【価格】

6,000円

【販売窓口・販売時間】

市役所文化スポーツ課 8:30-17:15(土・日・祝日を除く)
歴史民俗資料館 9:00-16:30(月曜・祝日休館)
文書館 9:00-16:30(月曜・祝日休館)

※郵送での購入については、市ホームページをご確認ください。